

NPO 法人愛媛大学校友会人材活用センター主催
松山市後援

講演とヴァイオリン演奏の午後



日時 平成25年5月18日(土)

13:30 ~ 16:00

場所 愛媛大学南加記念ホール
(大学正門を入ってすぐ右)



申込み不要

(当日、会場に直接お越しください。)

講演

13:30 ~

愛媛大学特別栄誉教授, カリフォルニア大学 (UCSC) 客員教授
遠藤 彌重太

タンパク質合成技術の開発とその応用
— 神秘的な生命の原理を探る, われわれは何者? —

“われわれはどこから来たのか, われわれは何者か, われわれはどこへ行くのか?”
ゴーギャンが描き出したこの問いは, 古くから人々を悩ませ続けています。
講演では, 世界に先駆けて愛媛大学で開発した試験管内タンパク質合成法とその
医薬品 開発への応用等のほか, 本技術をこの哲学的課題解明の手法とする
わたくし達研究者の挑戦を紹介させていただきます。



ヴァイオリン演奏

15:00 ~

元 愛媛大学教授
三上 徹

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後,
同大学管弦楽研究部非常勤講師を経て,
1990年愛媛大学に赴任。

ピアニスト ヨゼフ・ハーラ氏(チェコ)との
ヴァイオリンリサイタル等を約10年に渡って開催。
現在カルミア・ストリング・デュオ(ヴァイオリン
二重奏)として活動中。



(曲 目)

バッハ作曲
無伴奏ヴァイオリンの為の
パルティータ第3番 長調 BWV 1006

テレマン作曲
無伴奏ヴァイオリンの為の
ファンタジー 第9番 短調

その他

<http://koyu.ehime-u.jp/NPO/>

ご来場は, 公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先

愛媛大学校友会事務局

TEL 089-927-8610

office@koyu.ehime-u.jp